

全国簿記競技大会 2025 優勝者インタビュー



高等課程の部 優勝

木曾 楓さん

北見商科高等専修学校 3 年



(1) 昨年に続き、2年連続入賞された感想を教えてください

昨年、学校の先生に勧められて出場した際、かなり緊張してしまい、思ったように実力を出せませんでした。結果は3位入賞でしたが、自分で納得いく結果が得られなかったことや、今年度に全経簿記1級を取得できたことを踏まえ、3年生として大会でその成果を試してみたいと考えて今年度も出場しました。

今回は、落ち着いて問題を解くことができて手ごたえがあったので、優勝できて本当にうれしかったです。また、優勝を報告した際には、先生方もとても喜んでくださり、感慨深いものがありました。

(2) どんな試験対策をどのくらいの期間されましたか？

1 か月前から、本大会の過去問をたくさん解き、どういう問題が自分の弱点であるのかを把握していきました。また、CBT 形式の試験であるため、パソコン上で模擬問題を解くことで、パソコンの操作に慣れるように取り組みました。

(3) 役立った対策がありましたら教えてください

分からないところはそのままにせず、テキストや参考書などでなぜわからないのか、どういう部分で分からないのかをしっかりと分析したことが役に立ったと思います。

例えば、帳票の問題について昨年は税金の計算をしなければいけないところが分かっていたので、その部分を分析して理解を深めておいたことで対応することができました。

(4) 難しかったのはどんなところでしたか？

仕訳から取引を推測する問題が難しく、そこに時間を割かなければいけなくて、仕訳分野全体の時間配分が難しかったです。

(5) 簿記を学んでいてよかった、と思うのはどんな時ですか？

日常で起きていることを、「これはこんな考え方ができるな」といった、物事を深く考える視点を持つことができるようになったと感じた時です。

(6) 将来の夢ややってみたいことがあれば教えてください

学生時代に取得した全経簿記能力検定 1 級や全経電卓計算能力検定 1 級を活かせる仕事をしたいと考えているため、経理の仕事を目指したいと思っています。

(7) 来年簿記競技大会にチャレンジしようと思っている人へ、アドバイスをお願いします

仕訳の問題が全体的に難しかったので、仕訳の内容や意味をしっかり勉強しておいた方が良いでしょう。

自分自身もまた機会があれば、簿記競技大会に挑戦してみたいと思います。